

第2次周南市一般廃棄物(生活排水)処理基本計画(素案)に対する意見と市の考え方

番号	項目	意見(全文)	意見(概要)	市の考え方
1	その他	<p><意見> 過去を振り返ってみると、大きいことは良いことだ式の考え方で、大規模集中のことが多かったと思える。一見、効率良いように見えるが一度、障害や故障が発生すると影響も大きい。今後、下水道の管の寿命が来て修理するとなると膨大な費用と時間を要する集中下水道方式を改め、分散型の各家庭の浄化槽方式にすべきと考える。浄化槽は高性能なものとし、中水として利用できる水質3PPM程度のものですることが望まれる。3PPM程度であれば、トイレや庭の散水に使用できるので、上水の使用を減らすことができる。我家は〇〇年前、この方式を思ったが、下水道整備地区なので許可されなかった。今後の考え方は小規模分離型とすべきと思う。トラブルが発生しても影響は小さい。水は地表を流すのが安全です。</p>	<p>・大規模・集中型の下水道方式は、効率的に見える一方で障害・故障時の影響が大きく、老朽管の修繕に膨大な費用・時間がかかる懸念がある。今後はトラブルが生じた際に影響が少ない小規模分散型(各家庭の高性能浄化槽)へ転換すべきではないか。 ・高性能な浄化槽を設置すれば処理水を中水利用できるのではないか。</p>	<p>・下水道計画区域の処理区域内においては下水道法上の接続義務により浄化槽方式への転換を図ることはできませんが、「分散型への転換」のご意見は、今後の生活排水処理のあり方を検討するうえでの参考とさせていただきます。 ・高性能な合併処理浄化槽の処理水の中水利用については設置に関する高い費用負担だけでなく、利用用途に応じたその他の施設整備や安全基準を満たす必要があることから慎重な対応が必要と考えます。</p>
2	その他	<p><意見> 今後、何十年先までの維持費はどうなっているのでしょうか。管路の維持費は？</p>	<p>・下水道管路の維持費は、将来的にどうなると考えているのか。</p>	<p>・下水道管路の維持管理については、施設の老朽化に伴い、今後も維持管理費が増加すると考えられますが、全体的なコスト削減に努め適切な施設維持管理を行ってまいります。</p>
3				